

JM7 台利用りんご樹の衰弱症状における年輪褐変年の特定と樹勢回復法

【1 年輪の褐変年度】

(1)りんご樹の年輪形成年を特定し、年輪の褐変（異常）年を調査したところ、**褐変（異常）が始まった年輪の年代は2000～2001年に多い**ことがわかりました。



品種：きおう

1997年定植

2005年2月伐採

デジタルカメラ画像により年輪を特定しました

下線は異常が見られる年輪

【2 樹勢回復対策】

(1)接ぎ目コブの上部まで盛土を行うことで、発根率が高まるとともに、発根量も増加します。



台木部分にある接ぎ目コブの上部から発根します。



穂品種部分まで盛土をすると自根が発生する恐れがあります

発根した根が乾燥しないように十分な量の土を盛ります

【3 活用方法】

現在は、研究センター圃場以外での接ぎ目コブが原因と考えられる衰弱症状の発生は、少ない状態ですが、万一この症状が見られた場合は、盛土を行うことで樹勢回復が期待できます。